



「卒業生諸君の、 新たな歩みに期待します」

後援会会長 鈴木 貞明

今年の桜開花予想は、平年より早くなる予想となっており、卒業式を迎える頃には学内の桜も花開くかと思われます。

令和2年度の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、ご卒業される保護者の皆様には、これまで後援会活動にご理解とご協力をいただき感謝とお礼を申し上げます。

卒業生は4年前、それぞれの夢と希望と願いを持ち、或いは様々な決意を持ち、大きな期待に胸を膨らませて、日本工業大学に入学されて来たことと思います。ただ、この一年は、新型コロナウイルス感染拡大により、思い描いた年ではなかったと思いますが、大学生活を通じて良き先生方や先輩、友人、後輩と出会い、学ぶことの楽しさを体験し、新しい学問や研究に触れつつ、充実した日々を過ごされたのではないのでしょうか。卒業後は、多くの方が企業などに就職し社会人となられると思います。大学で得た確かな知識と技術や資格などを社会へ出て活かすとともに、さらに現状に満足せずに何事にも積極的かつ貪欲に取り組み、大きく成長されることを心から願っております。

卒業生の皆様、新たな人生の歩みの中で、不安もあるかと思いますが、あなた方は一人ではなく常に温かく見守ってくださる方がおられることを忘れないでください。

「コロナ禍という逆境を、 成長と発展につなげるために」

学長 成田 健一



今年は桜の花が例年より早く咲き始め、学位授与式には見ごろを迎えるかもしれないというのに、1都3県の緊急事態宣言が延長され、保護者の皆様にご列席いただくことができませんでした。卒業生のために晴れの式典を何としても執り行いたいとの想いでの苦渋の選択であること、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

多くの大学が、企業を招いての説明会を中止する中、本学は各企業に一つずつ教室を割り当て、完全予約制で安心安全を確保した上で、学内合同企業説明会を実施しました。その結果コロナ禍の状況下でも、ほぼ9割の内定率を達成することができました。なお、3月には、帰省できない学生を少しでも励ましたいと、教職員有志の呼びかけで募金活動を行い、学食において「100円定食」を提供していますが、学生に大好評となっています。

会員の皆様には、正式には定期総会にてご承認をいただくこととなりますが、令和3年度の特例事業として、食堂の亚克力板設置や体温測定器の設置などのコロナ対策に充当していただくことを理事会で決議いただきました。地域別教育懇談会をはじめ後援会活動につきましては自粛を余儀なくされた一年となりましたが、今後も学習環境の整備、保護者の皆様との情報共有に最大限の努力をしていく所存です。ご理解・ご協力のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。



令和3年3月20日、学部752名が卒業、博士前期課程55名、後期課程2名が修了を迎えました。コロナ禍により例年とは違った形の卒業式となったため、ご列席が叶わなかったご卒業の会員の皆様に式典の様子を紙面にてお届けいたします。

